

都市／仕組み／時間

記憶する都市

丁寧な保全が長い信頼をつくる

佐藤 花子

都市尺度出版

記憶する都市

記憶する都市

丁寧な保全が長い信頼をつくる

佐藤 花子

都市尺度出版
東京

Copyright 2026 佐藤 花子

無断転載を禁じます。本書は架空の見本です。

初版

発行 都市尺度出版, 東京

2026

ISBN 978-1-7380000-8-0 (sample)

壊れた時にしか気づかれないものを守る人へ。

目次

01 第一章 見出しの間にある仕事

02 付録: 第三章 次の担い手のために

謝辞

03 注記

参考文献

01

見出しの間にある仕事

都市が橋を開くのは一度でも、守る仕事は百年続く。注目は開通へ向かい、公共の価値はその後の仕事に支えられる。^[1]



保全是設計上の選択

保全是設計上の選択

レジリエンスとは、重要と呼ばれる前の普通の火曜日にも使えるものだ。

取り組み	すぐの効果	積み重なる効果
安定した図書館時間	予測できる公共空間	災害時の連絡強化

付録: 第三章 次の担い手のために

次のチームが点検し、問い直し、続けられる時、長期の仕事は初めて信頼できる。

謝辞

この見本は、編集階層、引用、表、注記、参考文献を示します。

注記

参考文献

佐藤花子『公共能力としての保全』架空の研究資料、2026年。

...

1. 地区と結果は架空で、テンプレート紹介のためだけに用意されています。↩

日々の保全、図書館、木陰へ投資する架空の地区を追い、小さな判断の積み重ねが公共の力へ変わる過程を示します。

保全を都市の志として捉える、明快な一冊。

公共空間季報

著者について

佐藤花子は、インフラ、公共の信頼、長期的判断を研究する架空の都市研究者です。

example.invalid

都市尺度出版

ISBN

978-1-7380000-8-0

(sample)